

# SCOUTING

特集

2019  
No.732

7

## 中途退団者減少を 目指して

—いま、できることを考える—

2019(令和1)年度  
全国大会



CONTENTS

- 02 中途退団者減少を目指して  
-いま、できることを考える-
- 06 10万人の力をひとつに  
社会とのつながりを広げよう
- 08 2019(令和1)年度全国大会
- 11 全国ローバースカウト会議2019年度総会
- 12 野外活動のための安心・安全講座  
セーフ・フロム・ハームから考える  
安全・安心な活動
- 13 進級と選択課題(技能章)
- 14 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2019
- 14 スカウトの日
- 15 第13回日本アグーナリ-
- 16 ローカルホットライン
- 17 ボーイスカウトにおけるSTEM(ステム)教育の  
取り組み
- 18 維持会員
- 18 日本連盟情報
- 19 信仰奨励
- 19 エッセイ
- 20 スカウティングと観察・推理 ②  
スカウトキャンプならではのチャンス。  
夏のプログラムには夜の自然観察を。
- 22 海での活動について  
～海上保安庁から3つのお願い～
- 23 スカウトショップ

# 中途退団者 減少を目指して

## -いま、できることを考える-

3年後の2022年に日本連盟が創立100周年を迎えるにあたり、現在、スカウティングをより発展させるべく、さまざまな方策を展開しています。

今号では、2019年度事業計画の成果目標のひとつである「中途退団抑止対策」について、その状況と原因を確認し、皆さんと考えていきましょう。



## 減り続ける加盟員、 「中途退団」の現状

日本連盟の加盟員数は1983(昭和58)年の約33万人をピークに年々減少し続け、2018年度末の加盟登録人数は、98,587人でした。

■ 加盟登録人数推移

表1

年度	加盟員数	新規加入者数①	前年度からの非継続者数②	差引数(①-②)
2014(平成26)	122,812	12,138	17,141	-5,003
2015(平成27)	115,179	10,094	17,727	-7,633
2016(平成28)	109,528	11,484	17,135	-5,651
2017(平成29)	104,086	11,227	16,669	-5,442
2018(平成30)	98,587	10,340	15,839	-5,499

2017年には奥島理事長より「非常事態宣言」が出され、加盟員減少をくい止めるべく、運動内のあらゆるレベルでスカウティングの復興を目指した取り組みを皆さんにお願いしてきました。

日本連盟では、社会連携・広報委員会が「新広報戦略10本の矢」として加盟員10万人による広報活動を展開し、団支援・組織拡充委員会が地域のスカウト教育の拠点である各団の活動を支援していく取り組みを進め、特に組織拡充モデル県連盟についてはそれぞれの県連盟のニーズに合わせた支援をしています。

そして、新規の加盟員を獲得し組織拡充を図る一方で、活動の途中でやめてしまうスカウトの数を減らせるように、中途退団抑止特別委員会が編成されました。

過去において、加盟員の多かった時期にも、活動半ばでやめていくスカウトはいました。単に加盟員数を増やすということであれば、新しく入るスカウトがやめるスカウトより多ければ目標が達成され、複数年続けば加盟員数は増えることになります。

スカウトは、なぜ「やめてしまう」のでしょうか。理由はこれまでの調査等でも論じられてきました。進学や部活動などでスカウト活動との両立が難しくなること、保護者の転勤に伴う転校などによるもの、活動そのものに興味がなくなったこと、スカウトや指導者、保護者などの対人関係によるもの、家庭の事情

などさまざまな理由が考えられます。

これらの理由について、スカウト運動がすべてに対応できるわけではありませんが、私たちの努力で、やめていくスカウトを減少させることができるケースもあるのではないのでしょうか。2006(平成18)年に日本連盟組織拡充委員会が、実際にやめたスカウトに「本音」の理由を聞き取り調査しました。10年以上前の調査ですが、代表的な理由は以下のとおりです。

- ・プログラムがおもしろくない
- ・隊指導者と合わない(苦手)
- ・部活などが忙しい
- ・塾で勉強がしたい
- ・経済事情が許さない

このうち、指導者側が直接対応できることは、「プログラム」「隊指導者」という面ですが、この課題はどうしたら解決できるでしょうか。

この2つは、いわゆるスカウティングの「質」の問題です。そして、この問題は2017年に日本連盟が県連盟コミッショナーを対象に行った、組織拡充が進展しない最大の要因の調査においても同様の指摘がありました。このことから、中途退団の理由と新規加盟員獲得の障害になっている理由は、同根かと思われます。

スカウトは、  
なぜ「やめてしまう」のでしょうか。



## スカウティングの質を上げるために

表2

表2は、登録人数によって各団の規模をカテゴリー分けし、全国の団の状況を分析したものです（この表は、団の優劣をつけるものではなく、現況を把握するものです）。

ただし、この表からは、それぞれのカテゴリーにおける新規入団者数と中途退団者数の関係はわかりません、Sだから、Dだから、新規入団者数が中途退団者数より多い、少ないとは限りません。

全国でこのような状況をさらに細かく確認していくと、おおよそSからBの団が複数の班や組を構成する隊で活動しており、SからBの団に所属するスカウトは全体の約47.8%ということが分かりました。つまり、約半数のスカウトにしか、班と班が競い合うような班制教育が提供できていないことになります。また、この3年間でも徐々にその割合は減ってきています。

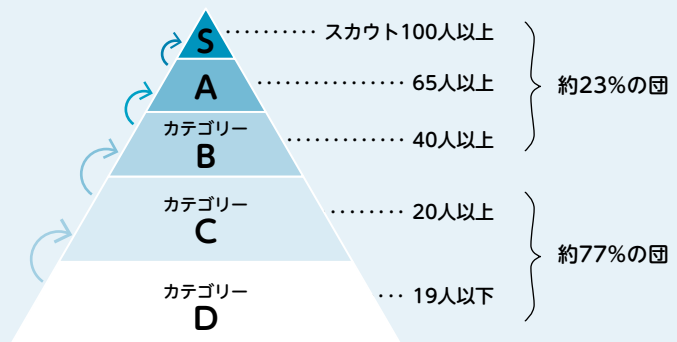
スカウト同士が班をつくり競い合い、切磋琢磨していく本来のスカウト活動ができていない状況、一定の質を保つことができていない状況で、スカウトはこの活動を十分に楽しいと思うことができるでしょうか。

活動の質を上げるために、最低限の班活動ができるようにスカウト数を増やすこと。これがこの問題への対応として必要になります。「数」が増えるから、「質」が安定する。「質」が安定しているから、より一層「数」が増える。

ニフトリが先かタマゴが先か、ときに出口がないジレンマに陥るかもしれませんが、野球が9人いないと試合ができないように、スカウト運動でも班としての活動を行っていくには、人数が必要です。今はたとえ1班でも、2班以上で活動することが本来のスカウティングを進めるうえでは望ましいということを再認識する必要があります。

団数						
	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
S	19団	0.96%	22団	1.07%	24団	1.14%
A	101団	5.10%	113団	5.51%	127団	6.04%
B	335団	16.91%	376団	18.33%	402団	19.12%
C	715団	36.07%	727団	35.45%	754団	35.87%
D	812団	40.96%	813団	39.64%	795団	37.83%
計	1,982団	100.00%	2,051団	100.00%	2,102団	100.00%
	S+A+B=22.97%		S+A+B=24.9%		S+A+B=26.3%	
	C+D=77.03%		C+D=75.1%		C+D=73.7%	

※平成30年度末(平成31年3月末日)のデータによるものです。所属スカウト数100人以上の団はSカテゴリー、65~99人はAカテゴリー、40~64人はBカテゴリー、20~39人はCカテゴリー、19人以下はDカテゴリーになります。



「数」が増えるから、「質」が安定する。

「質」が安定しているから、より一層「数」が増える。

## それぞれの団、地域での 取り組みを再認識しましょう

各団では、新規入団者数と中途退団者数などの各年度状況を把握されていると思います。そこで、ぜひ、団の過去から現在に至るまでの状況を振り返ってみてください。右に参考の表(表3)があります。10年前を「1」とした10年間の登録推移です。団で把握している数をこのような表にしてみてください。

前述のカテゴリーでいうと、この仮想の団では10年の間に「C」→「B」→「C」→「D」→「C」と推移しています。この推移をグラフにしてみると次のようなものになります。

この状況を分析してみましょう。順調にスカウトが増えていたときはいったい何が良かったのでしょうか。急に減った年には何があったのでしょうか、一番少なくなった年の理由は何でしょうか。それぞれの隊について振り返ったり、考えてみたりすることが大切です。そのなかで、さまざまな原因やそれに対する方策、また、そこで大切にしていたこと、目指したことを団内で話し合ってみてください。そして、それを踏まえて次の5年間を考え、それぞれの団が5年後にどうなっていくのか、どうしていくべきかなどの目標についても考えてみましょう。

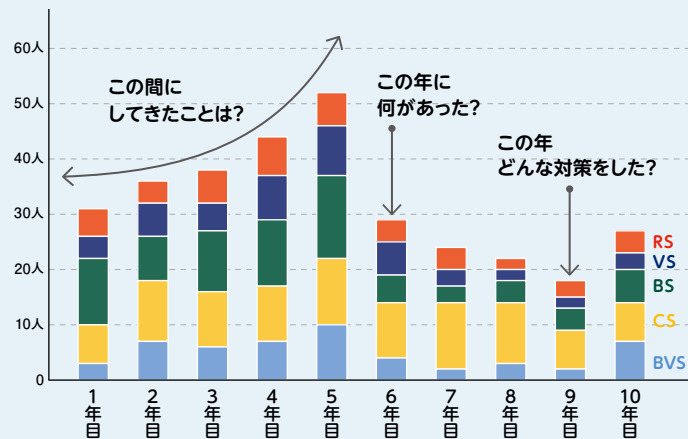
中途退団抑止に関する取り組みについて、現状では残念ながら、すべての団に即役立つ特効薬のようなものはありません。団や隊の課題は実にさまざまです。そこで、中途退団抑止特別委員会の今年度の取り組みについて以下に概要をお伝えします。今後、これらを推進していきますので、ぜひ参考にして団の中途退団抑止にお役立てください。そして、こうした事業にご参加いただき、皆さんの団の課題や取り組みをお聞かせください。一緒に考えてまいりましょう。

### 日本連盟中途退団抑止特別委員会の推進事業予定

- **次世代につなげるスカウト運動セミナー**  
団運営者を対象に、全国11会場で開催予定。
- **全団調査**  
全団の現状について、各県連盟コミッショナー、地区コミッショナーなどの協力を得て、インターネットによる調査を実施。
- **集会プログラムコンテスト**  
全国で楽しい隊集会を募集し、データベースとして提供。
- **団の組織拡充取り組み成果事例(とりまとめ)**  
各団での成功事例の収集と共有。
- **関連事項の調査と取り組みの検討**  
中途退団抑止に効果がありそうな関連事項の調査研究。
- **地域フォローミーティング**  
各地域でのセミナーと連動して地域ミーティングを開催。
- **宗教関係本部訪問**  
宗教関係を育成母体とする団への支援として、宗教関係本部への訪問と今後の一層の支援依頼。
- **政策サポーターの構築**  
全国で推進する中途退団抑止策の展開について協力者ネットワークを構築。

表3

年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
BVS	3	7	6	7	10	4	2	3	2	7
CS	7	11	10	10	12	10	12	11	7	7
BS	12	8	11	12	15	5	3	4	4	6
VS	4	6	5	8	9	6	3	2	2	3
RS	5	4	6	7	6	4	4	2	3	4
計	31	36	38	44	52	29	24	22	18	27



中途退団抑止については、それぞれの団ができることやすべきことに加え、団を越えて地区、県連盟そして日本連盟が行うことがあります。そのうち、スカウト教育を展開する現場である団で行うことは多いと思います。

そのときに考えていただきたいことがあります。それは、団の方々がスカウトおよび保護者や兄弟を親しく受け入れているかということです。古くからの仲間だけで楽しく語らう等、新しい仲間が置き去りになってはいないでしょうか。新しく入った仲間には、特に親しみをもって接したり、声をかけたりすることが必要だと思います。

そして、スカウトや保護者がこの運動に期待していることに、きちんと応えられているでしょうか。保護者からの活動に対する評価のひとつとして、「登録費や活動費を支払っているが、それに見合う以上の教育(サービス)か」ということが考えられます。

この教育が不十分なところが、①プログラムがおもしろくない ②隊指導者と合わない、苦手(指導者が正しく指導できない) ③仲間づくりができていない などの評価につながっていると考えられます。

入団の際、保護者のニーズをしっかりと把握し、1年後にその答えを保護者にフィードバックする。そしてまた新たなニーズを把握し、その1年後にフィードバックする。このように保護者に応えることも必要です。隊においては、スカウトのニーズにしっかりと応えているかどうかを振り返ってみることで、これが、団の基本姿勢としてできているかどうか。

仲間が1人増え、2人増え、やがて大きな輪ができるようになります。多くの団が発団の際に味わってきた過程ではないでしょうか。改めて、こうしたことも考えながら取り組んでいただきたいと思います。

中途退団抑止特別委員会委員長 膳師 功

# 10万人の力をひとつに 社会とのつながりを広げよう

## 社会連携・広報フォーラムの開催

日本連盟社会連携・広報委員会では、これまでに多くの県連盟を訪問し、「新広報戦略10本の矢」の普及や協力依頼に取り組んできました。訪問した県連盟では具体的な動きもあり、WEBサイトの充実などさまざまな取り組みを推進しています。

今年度、社会連携・広報委員会はこれまで以上に多くの県連盟を訪問し、スカウト募集やイメージ展開などの具体的な取り組みに関する情報提供を行う「社会連携・広報フォーラム」を実施します。

- 地域における社会連携の進め方
- WEBサイトを使ったPRの具体的方策
- ニュースリリース発信方法

## 助成金獲得の極意教えます

皆さんの団では、助成金を申請したことがありますか？助成金には、全国規模のものや地域性のあるものなど、さまざまな種類の助成があります。そこで今回は、助成金を申請する際に気をつけたいポイントをご紹介します。

### 助成金申請のポイント

#### 助成金申請のポイント5か条

- なぜ助成金がほしいのか？ それをはっきりとさせよう！
- 助成金の情報を集めるアンテナを張ろう！
- この「助成を選んだわけ」について提案しよう！
- 熱意は表すもの。だから、はっきりと文章に表現しよう！
- 提出の前に、もう一度。基本をおさえて、道ひらく。

(出典：東京ボランティア・市民活動センター「助成金申請の進め方」)

※詳細は、出典元をご確認ください。

助成金の申請で最も大切なのは、「背景」や「目的および目標」です。

「自分たちがこれをしたい！」から助成を申請するのではなく、社会的な課題やニーズなどの背景のもと、「課題解決のために、この活動に取り組めます！」と申請しましょう。

それ以外にも、具体的で実施可能な「計画」、活動で得られる「成果」、事業実施後の「展開」についても、一貫したものになっているかがポイントになります。

#### 気をつけたいポイント

1. 背景
2. 目的
3. 目標
4. 計画
5. 成果
6. 助成事業後の展開

### 一般の子どもたちと一緒に行うプログラムが good!

ふだんの活動自体に対して助成金を申請するというよりは、一般の子どもたちがボーイスカウトの活動に参加することで健全育成につながるといったプログラムを実施する際に活用してみましょう。これにより、これまでボーイスカウトと接点がなかった子どもたちに、ボーイスカウトの魅力を知ってもらえるチャンスができます。

- 広報ツールの活用
- 助成金獲得の極意

主に上記のような内容で、各県連盟の状況や希望に応じて内容を決定していきます。いずれも、各団で取り組める具体的な例や情報をお伝えする予定です。現場で活躍するビーバー隊やカブ隊の指導者、団運営者、広報や資金集めに携わる方、新たな取り組みに挑戦したい方の参加を歓迎します。

今号では、フォーラム内容から実際のスカウト活動の内容を知ってもらうためのプログラム実施に役立つ「助成金申請」のポイントをご紹介しますとともに、ローバースカウト年代向け事業の取り組みをご報告します。

ここで一例として、独立行政法人青少年教育機構が展開する「子どもゆめ基金」の助成分野をご紹介します。「1. 自然体験活動」の具体例を見ると、ボーイスカウトのメイン活動である野外活動（ハイキングやキャンプなど）が挙げられており、この分野で申請したくなりますが、この分野は応募が多いため採択率が低くなってしまいます。

そこで、「1. 自然体験活動」をメインに複数分野を組み合わせる「6. 総合・その他の体験活動」として申請したりするのもひとつです。子どもゆめ基金のホームページ (<https://yumekikin.niye.go.jp/>) には、具体例も掲載されていますので、まずは参考に見てみましょう。

分野	具体例
1 自然体験活動	ハイキング、キャンプ、野外炊事など
2 科学体験活動	実験教室、ものづくり体験やプログラミングなど
3 交流を目的とする活動	異年齢交流、地域交流など
4 社会奉仕体験活動	地域清掃、環境美化、社会福祉施設慰問など
5 職場体験活動	地域農家の指導による米作り、インターンシップなど
6 総合・その他の体験活動	上記の複数分野を組み合わせた活動など

(出典：子どもゆめ基金「子どもの体験活動・読書活動 平成31年度助成募集案内」)

### 参考 助成金の情報源

助成金には、地域の中でこそ活用しやすいものも多くあります。インターネット上の情報源は、以下のものがおすすめです。

- ▶ CANPAN (助成制度一覧) <http://fields.canpan.info/grant/>
- ▶ 公益財団法人助成財団センター (助成金情報) <http://www.jfc.or.jp/grant-search/guide/>
- ▶ 認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 (助成金情報) <http://www.npoweb.jp/topics/news/subsidy/>

多くの人が体験を経て入団を検討することでしょう。ひとりでも多くの子どもたちがボーイスカウトの活動に触れ、さらにスカウトになってさまざまな経験を積めるよう、皆さんのプログラムでも「助成金」を活用してみませんか。

社会連携・広報フォーラムでは、より具体的な例をもって助成金獲得のポイントをご紹介します。

## 報告1 県連盟が開催

## スカウトと県内企業をつなぐ事業

スカウト運動の理念である「社会に貢献できる人になる」ためにスカウト活動に励んできた大学生年代が、活動を通じて得た経験などを活かせるよう、彼らの就職支援につながる事業を実施している県連盟があります。それらの事業がスカウトや県連盟にどのような効果をもたらしているかをご紹介します。

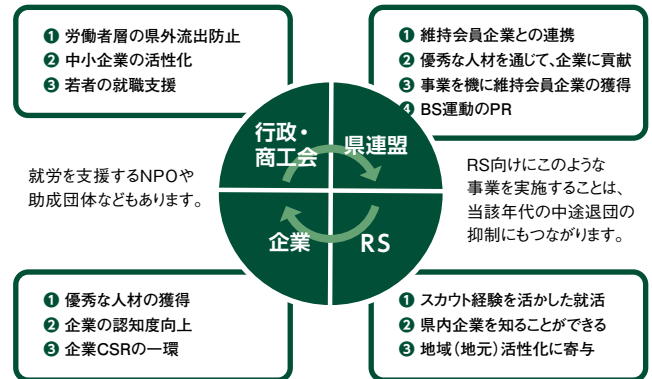


**愛知連盟** ローバースカウト(主に大学1~3年生)を対象にした「リクルート懇談会」を2016年に全国で初めて実施しました。「スカウト活動をエントリーシートにどう落とし込むか!」というテーマでリクルート提供のグループワークなどを行い、参加企業と参加スカウトの相互理解に繋がるなど、双方から好評を得ており、継続開催しています。

**埼玉県連盟** 2017年から「就職活動支援セミナー」を実施しています。ローバースカウトにとっては企業の具体的な事業内容を理解する機会になり、また、スカウト経験者である人事担当者と話すことで、エントリーシートの書き方はもちろん、スカウトの経験がどのように仕事に活かせるかを知る機会としています。

**兵庫連盟** 2018年から「就職活動支援セミナー」を始めました。就職活動の基本に関する講演に加え、スカウト出身の先輩を交えてのディスカッションや模擬面接、先輩のエントリーシート紹介など、具体的に役立つ内容になっています。参加者に大変好評で、県連盟内でも就職支援に対する理解が深まりつつあります。

3県連盟ともに、リクルートやマイナビといった就職活動支援のプロと連携し、就職活動の第一歩についても知ることができる事業となっています。



このような趣旨の事業を開催することのメリットは、スカウト(学生)側だけにあるものではありません。

県連盟にとっては企業とつながり、寄付金などの支援をお願いするきっかけにもなります。また、ローバースカウトまで活動を継続することが就職活動においてスカウト自身の強みにもなることを、保護者や指導者に理解してもらうことで、中途退団抑止にも効果が予想できます。

さらに、企業の立場としては、優秀な人材を獲得できるチャンスにもなります。また、若い力の県外流出に悩んでいる行政の場合は、地元学生と地元企業をつなぐこの事業を応援してくれる可能性があるのではないのでしょうか。引き続き、社会に貢献できる人へと成長していくスカウトたちの支援に努めてまいりましょう。

## 報告2 ローバースカウト年代対象

## スカウトと社会をつなぐ場所

ボーイスカウト運動が目指す「よりよき社会をつくる」ことによりどのように貢献できるかを、ローバースカウト年代の参加者が自ら考え、同年代の仲間たちとディスカッションする場として継続的に実施しています。毎回さまざまなゲストをお招きし、ゲストの専門性や社会経験を基にしたテーマでご講演いただいています。

今号では、2018年1月以降の開催実績を報告します。詳細は日本連盟ホームページをご覧ください。



- 第6回 2018年1月31日(水)  
KCJGROUP 株式会社 代表取締役社長兼 CEO 住谷 栄之資 氏
- 第7回 2018年2月13日(火) **in 大阪**  
パナソニック株式会社 特別顧問 大坪 文雄 氏
- 第8回 2018年3月27日(火)  
NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン 代表理事 大西 健丞 氏
- 第9回 2018年5月10日(木) **in 大阪**  
株式会社モンベル 代表取締役会長 辰野 勇 氏
- 第10回 2018年6月28日(木)  
東京工業大学 教授 野上 健治 氏
- 第11回 2019年1月8日(火)  
サイボウズ株式会社 代表取締役社長 青野 慶久 氏
- 第12回 2019年3月13日(水)  
パナソニック株式会社 特別顧問 大坪 文雄 氏
- 第13回 2019年5月31日(金)  
アレックス株式会社 代表取締役社長兼 CEO 辻野 晃一郎 氏  
(Google 日本法人元代表取締役社長)

今年度全国で展開する、社会連携・広報フォーラムでは、各団で有効活用いただける情報をご紹介しますので、所属県連盟で開催の際にはぜひご参加いただき、情報収集や意見交換をして実際の活動にお役立ていただきたいと思っております。2022年の日本連盟創立100周年に向け、全国10万人が力を合わせていきましょう。

社会連携・広報委員会

# 2019 (令和1) 年度 全国大会

## Creating a Better World

2019 (令和1) 年度の全国大会を鹿児島市で開催しました。「令和」になって初めての全国大会は、約740人の参加者を迎え、スカウティングエキスポではステージでの演舞なども行う、にぎやかな大会となりました。来年度の全国大会は神奈川県横浜市で開催します。

日時 5月25日(土)～26日(日)  
場所 鹿児島・鹿児島市民文化ホール 他  
参加者 743人(来賓・外国連盟も含む、一部集計中)  
主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
開催県連盟 日本ボーイスカウト鹿児島県連盟  
開催協力 ボーイスカウト九州・沖縄ブロック

後援 鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、薩摩川内市、日置市、いちき串木野市、阿久根市、鹿屋市、曾於市、さつま町、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KYT鹿児島読売テレビ、KKB鹿児島放送  
協力 公益社団法人鹿児島県観光連盟、公益財団法人鹿児島県観光コンベンション協会



## 開会式

森山 BS 振興国会議員連盟会員、川内衆議院議員、岩切鹿児島県副知事、外園鹿児島県議会議長、森鹿児島市長、岩切薩摩川内市長をはじめ、多くの来賓をお迎えして開会式を行いました。司会は鹿児島県連盟阿久根第1団の松林礼実ベンチャー副長と松林立佳カブ副長のおふたりに務めていただきました。

奥島理事長の挨拶の後、岩切鹿児島県副知事より歓迎のご挨拶、そして地元選出の衆議院議員である森山 BS 振興国会議員連盟会員と韓国スカウト連盟ハン・ゾンハン総裁よりご祝辞をいただきました。次に、今大会の開催や鹿児島県連盟の発展にご尽力いただきました森鹿児島市長、岩切薩摩川内市長、中木屋薩摩川内市野下地区コミュニティ協議会長へそれぞれ感謝状を、リ・ヨシエ台湾スカウト連盟国際委員に国際親善章を贈呈しました。開会式後には、鹿児島情報高校吹奏楽部の皆さんによる演奏会を行いました。



## 日本連盟創立100周年に向けた取り組みについて【要約】



現在、ボーイスカウトは大変な岐路に立っております。皆さまもご認識のとおり、大変危機的状況にあるという意味での岐路です。

さて、私たちはこのような状況のなか、「令和」という新たな時代を迎えました。これからの日本の在り方について、言葉のとおり「麗しき平和な時代を築く」という決意を新たに、ボーイスカウト運動を見直していくべきだと考えてます。

ボーイスカウト運動が、いわば権力や制度ではなく、自らが自らを鍛えていくことのできる「体験学習」「体験教育」であるために、今一度運動をしっかりと振り返り、新しいボーイスカウト運動を考えていかなければなりません。

この運動は、人をつくる運動です。どのような人であるべきかは、まさに「おきて」の中にあります。たとえば、最後の「感謝の心をもつ」という言葉は一体どういうことを

考えてみると、おのずと私たちが目指す世界が見えてきます。私たちはいろいろな人に世話になり、生かされています。その恩に報いるために何かを行う。つまりボーイスカウトの「奉仕の精神」です。誰かに頼まれて何かをするのではなく、もっと奥深いところからくるものだということを再確認し、ボーイスカウト運動の原点に立ち返って、これからの運動の在り方を考えていきましょう。

「令和元年」というキリの良い年に新しい運動を切り拓くため、新たな取り組みをしなければなりません。それは決して簡単なことではありません。ですから、皆さんで考えましょう。一緒に手を携えて、一緒に立ち向かいましょう。

これからの「令和」という時代が、ベターワールドに向かって一歩ずつ着実に進めるような運動にするため、共に努力してまいりましょう。



## 表彰式

開会式に続いて表彰式を行い、次のとおり各章をお贈りしました。

- (1) 人命救助章／2人
- (2) 公共奉仕綬／9隊
- (3) 褒状／1隊、1団体、3人
- (4) 特別功績章／2企業・団体
- (5) 感謝盾／2人
- (6) 特別感謝章／2人
- (7) 日連感謝章／3人
- (8) 感謝状／3人、3企業・団体、1県連盟
- (9) たか草／20人
- (10) かつこう章／42人

### 【組織拡充顕彰】

- (1) スカウト加盟員数および加盟員総数の増加／5県連盟
- (2) ビーバースカウト隊設置数／4県連盟



## 交歓会

交歓会は、三反園鹿児島県知事、逢沢 BS 振興国会議員連盟会長、金子 BS 振興国会議員連盟会員、ハン・ゾンハン韓国連盟総裁、チャオ・シューポー台湾連盟理事をはじめ、多くの来賓を迎え、鹿児島サンロイヤルホテルで開催しました。司会は開会式同様、鹿児島県連盟阿久根第1団の松林礼実さんと松林立佳さんに務めていただきました。約380人が参加するなか、アトラクションとして川内大綱引、獅子舞、三番神輿、島唄が披露され、会場は大いに賑わいました。全国大会引き継ぎ式では、田中鹿児島県連盟理事長より、来年度開催県の藤本神奈川連盟理事長に全国大会旗が手渡されました。

## 全国スカウト教育会議

### (テーマ集会)

2日目に開催した全国スカウト教育会議(テーマ集会)では、テーマごとに内容の濃い意見交換が行われました。

- (1) 100周年に向けて加盟員増加を目指して!
- (2) 部門の見直しに伴うプログラム実証の取り組みについて
- (3) すべての指導者にスカウトスキルを～スカウトスキルを使って楽しい活動を～
- (4) 実践しようセーフ・フロム・ハーム～スカウトたちの笑顔のために～
- (5) 次世代につなげるスカウト運動セミナー【九州・沖縄ブロック対象】
- (6) ローバー対象セミナー／世界のローバーはどんな活躍をしているのか
- (7) 薩摩の郷中教育とボーイスカウト【鹿児島県連盟提供】
- (8) 鹿児島県連盟野営場と薩摩藩英国留学生記念館見学研修ツアー【鹿児島県連盟提供】

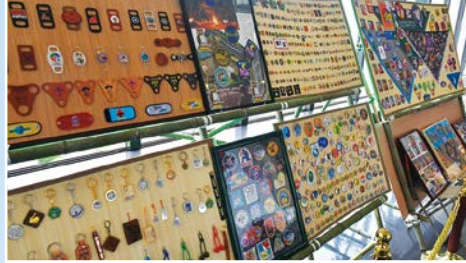


## スカウティング エキスポ2019

加盟員以外の一般市民へ本運動の理解を広めるとともに、指導者の研鑽の場、参加者との情報交換の場として開催したスカウティングエキスポ。今年は21のブースに加えてステージプログラムや、開催県連盟である鹿児島県連盟をはじめとする九州・沖縄ブロックによる展示や体験「どんどんスカウティングギャラリー」も会場を盛り上げました。

■**出展団体(順不同)** 日本ボーイスカウト鹿児島県連盟／第13回日本アグリーナリー実行委員会／日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ／日本スカウト切手・メモリアリアクラブ(メモリアリア部会、切手部会、書籍・資料部会、甲冑部会)／日本ボーイスカウト京都連盟／福岡ローバース／日本ボーイスカウト熊本県連盟／スカウティング研究センター／スカウト教育研究プロジェクト(SERP)／愛知連盟 刈谷第11団／愛知ローバース会議／大阪連盟ユース会議／全国ローバースカウト会議／中途退団抑止特別委員会／社会連携・広報フォーラム／団支援・組織拡充委員会／社会連携・広報委員会／スカウトショップ

■**ステージプログラム** 五ツ太鼓 彩流「和太鼓」／琉球国祭り太鼓「エイサー」／福島連盟「スカウトの歴史」



### 関連会議

- ・ 定時評議員会  
24日(金) 15:00～17:00
- ・ 日韓首脳会議  
25日(土) 9:00～9:30
- ・ 日台韓首脳会議  
25日(土) 10:00～11:00
- ・ 宗教関係者の会総会  
25日(土) 10:00～11:00
- ・ 県連盟代表者会議  
25日(土) 15:30～17:30
- ・ 全国県連盟コミッショナー会議  
25日(土) 15:30～17:30
- ・ 全国ローバースカウト会議(RCJ)総会  
25日(土) 15:30～17:00

11頁にRCJ掲載



## アジア太平洋地域 (APR) スカウト委員会および APR スカウト財団基金造成鹿児島大会

アジア太平洋地域は、近年、マカオ連盟やベトナム連盟が加盟し、国や地域を越えた、より強固な連携が望まれています。

今回、2007(平成19)年10月に東京で開催されて以来、日本では12年ぶりに APR スカウト委員会と APR スカウト財団基金造成大会が開催され、日本連盟はその運営に関与しました。



### APR スカウト委員会

日時:5月25日(土)～26日(日)  
場所:鹿児島・鹿児島市民文化ホール  
出席者: APR スカウト委員および参加者 16か国(日本含む)32人

APR スカウト委員会は、3年に1度開催される APR スカウト会議で承認された3年計画の進捗確認と評価を行うために1年に2回開催され、スカウト委員や各種委員会の代表が招集されます。今回のように全国大会(各国スカウト連盟総会)に合わせた APR スカウト委員会の開催は史上初のことです。

### APR スカウト財団基金造成鹿児島大会

日時:5月26日(日)  
場所:鹿児島・鹿児島サンロイヤルホテル  
出席者: APR スカウト財団会員、APR スカウト委員 16か国(日本含む)約90人

APR スカウト財団として加盟各国のスカウティング支援推進のため、APR スカウト委員長である駐タイ国インドネシア大使ルスティ閣下、フィリピン国連盟長でフィリピン大統領補佐官のアビサド氏、若切鹿児島県副知事をお迎えし、開催されました。



# 全国ローバースカウト会議 2019年度総会開催

日時 5月25日(土) 15:30～17:00 場所 鹿児島・鹿児島市民文化ホール 第1ホール 参加者 39県連盟代表スカウト39人、2018年度RCJ運営委員11人

## 議案

### 【第1号議案】

2018年度事業報告に関する件

### 【第2号議案】

全国ローバースカウト会議3か年目標に関する件

### 【第3号議案】

運営委員会の編成に関する件

### 【第4号議案】

2019年度事業計画に関する件

5月25日(土)に、鹿児島・鹿児島市民文化ホールにて、2019年度の全国ローバースカウト会議(RCJ)総会を開催し、各議案をそれぞれ賛成多数で承認しました。

今年度の運営委員は、各ブロックから選出されたブロック代表委員6人のほか、前年度からの留任者2人と、新たに活動推進委員立候補者3人が承認され、計11人で運営していくこととしました。

## 2019年度RCJ運営委員会

議長 池田 章浩

[留任・活動推進委員/愛知・名古屋第87団]

副議長 戸田 弥祥

[北海道・東北ブロック代表/北海道・名寄第1団]

副議長 堀 秀慈

[留任・活動推進委員/東京・台東第4団]

委員 山藤 春花

[関東ブロック代表/埼玉・さいたま第218団]

委員 原 瑛

[中部ブロック代表/愛知・名古屋第91団]

委員 小馬 加奈子

[近畿ブロック代表/大阪・高槻第4団]

委員 苅田 裕介

[中国・四国ブロック代表/愛媛・四国中央第2団]

委員 吉原 玖美子

[九州・沖縄ブロック代表/沖縄・沖縄第1団]

委員 尾形 凜太郎

[活動推進委員/宮城・仙台第28団]

委員 桑田 哲平

[活動推進委員/愛知・豊田第40団]

委員 山路 卓

[活動推進委員/福岡・北九州第5団]



## 議長挨拶

愛知連盟名古屋第87団

池田 章浩

新しい時代「令和」になりました。この新しい時代

にふさわしく、ローバースカウト(以下、ローバー)とローバーを取り巻く環境を大きく変えることが必要と考えています。この改革において、ローバー自身がスカウティングにおける自らの役割をこれまで以上に自覚し活動することで、スカウト運動の中でローバーがより注目され、取り上げられていくことを期待します。

ローバーの役割とは、スカウティングの集大成として、社会に奉仕し貢献できる青年とし

て社会から注目される活躍をすること、また、後輩スカウトから憧れられる存在として常に大きな夢とロマンを描きながら、これまでのスカウト経験を活かしてスカウト運動へ参画し、さらなる成長を目指すことではないでしょうか。

一人ひとりのローバーという「個」、そのローバーの力を最大限に発揮できるRCJという「場」。個と場の可能性を信じて、日本のボーイスカウトを活性化させ、Creating a better world by Roversを実現しましょう!

成人指導者の皆さん、未来の日本社会を担う私たちローバー年代が、より成長し活発に活動を展開できるよう、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

## RCJフォーラム2019開催

本年は、隔年で開催しているRCJフォーラムの年です。参加者同士の話し合いや交流を通じて、スカウティングにおける課題解決のための契機とすることを目的に開催します。

期間 10月12日(土)～14日(月) 2泊3日 / 場所 大阪・大阪府立少年自然の家 ※詳細は、今後、日本連盟ホームページ等に掲載予定です。



RCJに関する情報はこちらをご覧ください。<https://rcjweb.jp/>

RCJ公式LINE@でもローバースカウト向けの最新情報を配信しています。ID:@roveringjapanで検索してください。

## ■ 野外活動のための安心・安全講座

# セーフ・フロム・ハームから考える安全・安心な活動

2017年度から実施している「セーフ・フロム・ハーム」登録前研修およびセミナーにより、セーフ・フロム・ハームをご理解いただき、日々の活動で推進していただいていると思います。

これと並行して日本連盟では団内などで対応が難しい内容などの相談を受け付け、解決に向けて必要な支援を行うセーフ・フロム・ハームに関する相談窓口（専用電話、メール）を設置、運営しています。セーフ・フロム・ハームの本格導入から3年目となりましたので、これまでに寄せられた相談を分析し、日々の活動で気をつけたい点を皆さんと共有したいと思います。

## 事例報告

相談窓口を開設後、35件の相談が寄せられました。加盟員や保護者のみならず、非加盟員の方からも相談がありました。ここでは3つの事例について報告します。

### ① スカウト同士の事例

野営活動中のスカウト同士のトラブル等に端を発し、結果として被害者が退団に至る事例が報告されました。この事例では、アクシデントを発生させた環境への不満と事後の対応について相談を受けました。

### ② 指導者とスカウトの事例

活動中、指導者が特定のスカウトに対して差別的な扱いを行っているという相談を受けました。指導者の不当な接し方に関する事例です。この相談は、その現場を目撃した第三者（団支援者）からの相談でした。

### ③ 指導者同士の事例

団指導者から隊指導者、隊長から副長、他隊指導者からのハラスメント（セクハラ／パワーハラ／モラハラ）のケースが報告されました。このような事例は、特に多くの相談がありました。

## 発生要因の分析

相談を受けた事例から、発生要因について考察しました。

### ■ トラブルが発生する環境を作り出さない

定められたルールを守らないことで、トラブルが発生する環境を作り出してしまったということが考えられます。隊や団指導者が定められたルールを守ることで、トラブルが発生する可能性を下げることができます。

### ■ トラブル発生後の対応を誠実に実行

トラブル発生後の対応にスピード感や公平性を欠いてしまうと、関係者が不信感をもつこととなります。不信感により、トラブルの解決が遅のいてしまいます。隊や団内でトラブルが発生した際、どのように対応するか確認しておくことが大切です。

### ■ 人により感じ方が異なる

当事者同士は何気ないことであっても、第三者からは異常であると捉えられることもあります。人により感じ方が異なるのは当然です。何か行動するには広い視野をもち、正しいことなのか、このまま実行してよいのかを客観的に判断することが重要です。

### ■ ハラスメントへの認識をもつ

ハラスメントという言葉を知ってから久しいですが、皆さんはハラスメントについてどの程度理解しているのでしょうか。パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、モラルハラスメントなど言葉だけでなく、どういった状況において発生するのかも今一度学ぶ機会を設ける必要があります。

## 安心・安全な活動のために

私たちのスカウティングをさらに安心・安全なものとするには、どうしたらよいのでしょうか。今回紹介した事例は、実際に私たちの仲間うちで発生したものです。セーフ・フロム・ハームを他人事とせず、今一度真剣に考えましょう。

最後に、夏季活動目前の時期ですので、特に注意していただきたい内容を示します。

### ■ スカウト活動中の飲酒は絶対にしない

スカウト活動中の飲酒は厳禁です。冷静な判断ができなくなるだけでなく、危機管理においても緊急時の対応の妨げになります。もし飲酒をしている場面に遭遇しても、毅然とした態度で対応しましょう。

### ■ 定められたルールは守る

夏季活動などで宿泊を伴う活動が増えてきます。当然のことながら、合理的な配慮のもと、性別によりテントや宿舎を分ける、シャワーやお風呂などに配慮するなどのルールを守りましょう。

※詳細は「セーフ・フロム・ハーム」ガイドライン等をご確認ください。

## セーフ・フロム・ハーム 思いやりの心を育む教材

### 「思いやりの心ってなあに」

セーフ・フロム・ハームは、指導者をはじめとする成人の対応から取り組んできましたが、スカウトについてもそれぞれの年代に応じた取り組みが必要です。

スカウト自身が安全で安心な活動ができる環境づくりに取り組めることを目指した、思いやりを育む教材「思いやりの心ってなあに」を、まもなく全団にお送りします。

ビーバー隊やカブ隊の活動中に取り組むことができ、スカウト自らが考え、スカウト同士の話し

合いを通じて「気づき」を得られるものですので、ぜひ、ご活用ください。



### 取り組みについて

- この教材は12のストーリーで構成され、年間の活動を通じて活用できます。
- 読み聞かせ、話し合い、まとめの順に展開する教材で、それぞれの絵（見本参照）には、指導者用にテーマ、ストーリー（内容）、スカウトへの問いかけ、まとめを記載しています。
- 取り組みの際には、わかりやすい言葉で話し、柔軟な対応と適切な問いかけにより、スカウトの意見や気づきを引き出すように心がけましょう。
- 指導者の言葉でスカウトの気づきを失わないよう、また、指導者の考えや価値観を押し付けることがないよう、気をつけましょう。そのためにも、指導者は各県連盟が開催するセーフ・フロム・ハームセミナーを受講し、基本的な対応方法を理解することが望まれます。



# 進級と選択課目 (技能章)



新しい進級課程は2017年9月から施行され、今年3月までに移行を終えています。新しい進級課程における選択課目である技能章は、以前の選択課目と同様に、進級課目と連動して取得するものと、スカウト個々の興味や関心に応じて取得するものがあります。技能章については、今後も定期的な見直しやスカウトの興味に応じた新設を行い、記章も新たな形状やデザインに改定していきます。

## ■ 進級課目に連動した技能章

縁取りが赤色の技能章は、各進級課目の段階に応じて身につけてほしいスカウト技能で、進級課目と連動して取得していきます。縁取りが緑色の技能章は、興味や関心に応じて取得するものですが、スカウト技能に関連した通信章、計測章、観察章などは、進級課目と重複している細目が多いため、新たな技能章に取り組みよりも、もう少し頑張ることで容易に取得できるようになっています。

	キーワード	目 標	進級課目と連動して取得	興味・関心に応じて取得
 富士スカウト	リーダーシップ	プロジェクトの計画・実施・報告ができ、奉仕の精神と社会の一員としての責任を持ち、社会貢献を果たせるリーダーとなる資質を身につける。	 野営管理章 (考査員) 公民章 (隊長)	各進級に応じた9種に加え、本人の興味や関心に応じて取得に挑戦する。 ※富士スカウト章の取得は、合計15種以上の技能章取得が要件となる。
 隼スカウト	冒険と奉仕	スカウト技能を役立てることができ、ジュニアリーダーとして基本的な隊運営の知識を有し、健全なる体と精神を身につける。	 救急章 (考査員) バイオニアリング章 (考査員)	
 菊スカウト	模 範	自分の隊・班で積極的に活動でき、他のスカウトの良き模範として、班長や上級班長等、責任ある行動と指導ができる。	 野営章 (隊長) 野外炊事章 (隊長) リーダーシップ章 (隊長)	
 1級スカウト	キャンピング	ボーイスカウト活動の中心として、スカウトキャンプの計画・実施・報告ができ、スカウト技能全般を単独で実施できる。	 ハイキング章 (隊長) スカウトソング章 (隊長)	
 2級スカウト	ハイキング	班の中心として、ハイキングの計画・実施・報告ができるとともに、初級スカウトの指導ができる。		
 初級スカウト	仲間	初心者として、ハイキングやキャンプで自分のことが自分でできるようになる。		

## ■ 技能章の認定

スカウト技能の修得促進を目指すため、考査員ではなく所属隊長の認定により取得することのできる技能章を追加しています。スカウト技能以外の技能章については、従来どおり、考査員による認定となりますので、スカウトが取り組む前にどちらの認定が確認することが大切です。

なお、この4月から新設(見直し含む)した技能章を紹介します。





# 集え、 クリエイター

# ボーイスカウトPRムービーコンテスト2019

## 実施概要

### ■テーマ

**Skill** - スキル -

**Entertainment** - エンターテインメント -

### ■作品条件

- ① ボーイスカウトのPRになる内容であること
- ② 10秒以上90秒以内であること
- ③ 他者の著作権、肖像権等を侵害していないこと
- ④ 未発表であること

### ■応募資格

応募資格は以下のとおりです。

- ① ボーイスカウト運動の目的に賛同する者(加盟員である必要はありません)。
- ② 実施要項に同意している者。
- ③ YouTube への動画投稿が可能なアカウントを保有している者(本コンテストに応募するために新規取得したもので可)。

※応募者が未成年の場合、保護者または指導者の同意が必要です(一方ではなく両者の同意を得ることが望ましい。活動の一環として制作する場合は、指導者の同意を得ること)。必ず事前に同意を得たうえで応募ください。



(サンプル動画。ホームページよりご覧ください)

## 協賛企業(2019.6.15 現在)

本コンテストは企業からの協賛を得て、実施します。パナソニック株式会社、株式会社ゴーゴーカレーグループにご協賛いただくことが決定しました。

## 求む! こんな動画



### ボーイスカウトのPRになっているか

ムービーコンテストの一番の目標は、ボーイスカウト運動を動画で世界に発信すること。加盟員であるかどうかに関わらず、すべての人が見て楽しむことのできる動画を求めています。



### 伝えたいことがはっきりしているか

ボーイスカウトのPRになっていることはもちろん、PRとして、多様なボーイスカウトの活動の中で「何にフォーカスをあて」「何を伝えたいか」が見る人に伝わる動画を高く評価します。



### 動画が主体になっているか

動画だからこそ伝えられる魅力があると信じています。本コンテストでは、写真のスライドショーではない、動画ならではの表現を上手に使っている作品を高く評価します。

## いよいよ募集開始!

募集は7月1日(月)から9月30日(月)まで。

テーマに基づいた動画の撮影と編集ができれば、Youtube に限定公開で投稿しましょう。日本連盟ホームページ内から応募フォームを送信したら、あとは結果発表を待つだけ! コンテストの詳細は、ホームページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/prmc2019/>



# 今年も / スカウトの日

地球大好き! ~ I Love the Earth. ~

今年も「スカウトの日」が全国各地で行われます。

「スカウトの日」は、環境保全や環境美化の活動をはじめとするさまざまな活動を全国で一斉に行い、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会に知ってもらうことを目的としています。そして、かけがえない地球を守っていくために、スカウト1人ひとりが自分にできることを考え、行動することが求められています。

それぞれの生活を振り返り、生き物や自然、人や社会のために自分にできることは何か、スカウトとして何ができるか、スカウトのスローガンである「日日の善行」をいま一度考え、私たちの未来に向けて、自分たちにできる身近なことから始めていきましょう。

今年も活動資材を準備しています。団内で「窓口担当者」を決めていただき、団の申し込みが重複しないように調整して、日本連盟ホームページよりお申し込みください。なお、活動資材申し込みをしない団も、「スカウトの日」に参加して Web から活動内容の報告をお願いします。



## 2019年度「スカウトの日」 バッジデザインが 決定しました!

岐阜県連盟各務原第2団  
ボーイ隊副長  
岩田真美恵さんの作品



平成30年度の活動の様子  
「環境保全・郵便ポストの掃除」  
岩手連盟 盛岡第5団

今年もたくさんご応募いただきます。  
ありがとうございました。

実施日 9月16日(月・祝) 主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 後援 文部科学省、厚生労働省、環境省  
協賛 一般財団法人セブン-イレブン記念財団 申し込み 活動資材のお申し込みは、7月12日(金)まで。

<https://www.scout.or.jp/member/department/scoutday/>





# 第13回 日本アグーナリー

## 13th NIPPON AGOONOREE

### We Can! ふかめよう友情! ひろげよう絆!

来夏、福島にて開催する第13回日本アグーナリー。アグーナリーは、特別な配慮が必要なスカウトや、国内外のスカウトと指導者が集まり、キャンプ生活を通じて「共生社会」の実現を目指す国際障がいスカウトキャンプ大会です。大会開催まで、さまざまな情報をお伝えしてまいります。

会 期：2020年8月12日(水)～16日(日)

場 所：福島・国立磐梯青少年交流の家

テ - マ：We Can! ふかめよう友情! ひろげよう絆!

参加対象：特別な配慮を必要とするスカウト(CS以上)、指導者  
一緒に活動することを希望するスカウト(CS以上)、指導者  
スカウト運動の趣旨に賛同する一般の青少年(特別な配慮を必要とする青少年も含む)

#### ■ 現地説明会の開催

本誌2019年5月号(No.731)にてご案内のとおり、今夏、大会参加者募集に先立ち、参加を希望する団および隊指導者を対象に、現地説明会を開催します。

【日 時】2019年8月11日(日・祝)14:00集合  
～12日(月)11:00解散

【会 場】福島・国立磐梯青少年交流の家

【参加費】3,000円

※ 宿泊費1泊2日(夕食および朝食代含む)、資料代、情報交換会費含む

※ 往復の旅費は参加者の自己負担

【申込締切】7月10日(水)

#### ■ 大会参加費決定!

30,000円(予定申し込み時の予納金5,000円を含む)

参加費には、会期中の食費、参加章および配付資料等の費用、プログラム参加費(場外プログラムは除く)や会場の設備費および運営費、救護衛生費等を含みます。

#### ■ 今後のスケジュール(予定)

募集開始

2019年10月中旬

予定申し込み締め切り

2020年2月15日(土)

確定申し込み締め切り

2020年5月15日(金)

詳細は、順次、日本連盟ホームページ等にてご案内する予定です。最新の情報はホームページをご確認ください。



最新情報

COLUMN

### 日本アグーナリー



2020年の夏、第13回日本アグーナリー(13NA 国際障がいスカウトキャンプ大会)を、福島県猪苗代湖を見おろす国立磐梯青少年交流の家で開催します。日本アグーナリーは、愛知県で第1回大会を開いてから40年以上継続してきた大会で、最近では韓国、オーストラリアなどでも開催されています。

2016年に静岡県で行った第12回日本アグーナリーでは、アイルランドやオーストラリアなど海外6か国から76人の参加を含め、943人が富士山麓に集いました。参加スカウトは4泊5日のキャンプ生活をしながら、野外料理やクラフト、ハイキングなどのプログラムと、大会の運営にかかわる奉仕プログラム、そして参加者同士の交流プログラム等に取り組みました。そしてその証としてドリームアワードを取得し、大会役員から直接個々に栄冠が贈られました。

日本アグーナリーは、従来、障がいのあるスカウトがプログラムに取り組み、体験を上げスカウトキャンプを楽しみながら自信をつける大会でしたが、最近では、加えて参加者全員が「共に生きる」ことを学び、相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生する社会」の実現を目指す大会へと発展しています。

たとえば、ベンチャースカウトの参加の位置づけが、奉仕隊からチャレンジクルー、そしてユニファイド\*に変わり、大会運営スタッフに障がい者が増えました。また、障がいのあるスカウトがない隊の大会参加も促進され、ボーイスカウトに加盟していない障がいのある青少年にも参加を積極的によびかけるなど、時代を先取りする大会となっています。

現在、我が国は「ダイバーシティ(多様性)の推進」が課題だとされ、多様性を受け入れ、支え合い、多様な個性や価値観を尊重しながら共に生きる力が求められています。将来を託す青少年を育てるボーイスカウトでは、この課題への積極的な取り組みが期待されます。日本アグーナリーはこの課題に適した学習の場であると同時に、セーフ・フロム・ハームにつながる、人権尊重のプログラムとして活用できるものです。

※ユニファイド スペシャルオリンピックスのユニファイドスポーツ(知的障がいのある人とない人が混合チームを編成し、スポーツを通じて互いの個性を理解し支え合うスポーツ)と同様に、本大会のユニファイドクルーは、障がい者と健常者が共生を実現するために必要な援助を行うことを目的とします。

<https://www.scout.or.jp/member/event/13na/>



# ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他



## 埼玉 ☒ 世界フィギュアスケートの旗手に

さいたま北地区 地区副委員長 武藤 敦

今年3月、世界フィギュアスケート選手権大会がさいたま市のさいたまスーパーアリーナで開催され、4日間にわたり、表彰式の国旗掲揚を任せていただくことができました。

さいたま北地区のベンチャースカウトとローバースカウトで、事前リハーサルから準備し、大

観衆のなかでメダリストたちの国旗を運び、掲揚と降納を行いました。

緊張のなかでも、10人のスカウトは凛とした姿で動作を揃え、乱れることなく責務を果たせたと思います。同時に、スカウトたちは自信と価値ある思い出をいただくことができました。

## 東京 □ 世界とつながる 友達の輪

練馬第13団 育成会長 伊倉 恵美



練馬第13団では、ボーイスカウトとユニクロが行っている難民支援衣料回収プロジェクトへの協力を通じ、地球の裏側コロンビアの難民に

笑顔をお届け、友だちの輪を広げることができました。

昨年の秋、団内外から集まった387点の衣類をユニクロの店舗に届け、支援先であるコロンビアの難民の子どもたちへメッセージを送る機会をいただきました。店舗に届ける際、スカウトに向け、世界の情勢をわかりやすくまとめてくれたお

母さんたち(育成会員)が、今度はメッセージボード作りに取り組み、親子で真心のこもった笑顔のメッセージを仕上げてくださいました。

メッセージボードを託すと、支援したコロンビアの子どもたちの笑顔の写真が届き、スカウトもお母さんたちも大感激!! 同じ地球で、貧しく、栄養が足りない、学校に行けない子どもたちが大勢いること、国や民族同士の争い、宗教や人種、政治が違うことで暴力を受けたり、他の国に逃れたりしなければいけない難民の半数以上が18歳未満であることを知ったスカウトたち。自分たちの小さな取り組みが、遠く離れた人に繋がり、喜ばれるという貴重な体験となりました。

今年もまた練馬第13団の笑顔と真心が、まるとい地球のどこかの友だちに届きますように。

## 東京 ☒ 板橋区青少年表彰

城北地区 副協議会長 松下 善守

城北地区は、豊島区、北区、板橋区の3区から成ります。このうちの板橋区には、他の模範となる善い行いや地域に貢献する行いなどをした青少年に対する「板橋区青少年表彰」があります。個人と団体の表彰があり、今年は個人の部で、板橋第2団ビーバー隊の三瓶舞香隊長が、ビーバースカウト活動において地域への貢献と

少年の育成指導に尽くしたことにより選出され、1月20日に板橋区立文化会館で行われた表彰式において、坂本板橋区長と中川教育長より表彰されました。

私たちの仲間が評価され、表彰されるということは、大変喜ばしいことだと思います。





## 佐賀 □ ボーイスカウト佐賀第1団 創立70周年記念式典を挙行

佐賀第1団 団委員 廣納 章

平成の終わり、平成31年4月28日に、佐賀第1団の団本部である浄土真宗本願寺派宝海山「願正寺」で、来賓、OB、保護者の皆さんをお招きして団創立70周年記念式典を執り行った。

当団の歴史は佐賀県連盟の歴史でもある。日本ボーイスカウトの大先輩である佐野常羽氏の父、日本赤十字社を創設した佐野常民氏の出身地である佐賀市で、昭和10年に願正寺住職の熊谷満城氏が「葉がくれ健児団」を結成した。

日本連盟の前身である大日本少年団連盟は、戦時下、解散を命じられ活動は一時期中断した。戦後、各地で運動の再建が進み、佐賀県でも熊谷満城氏が中心となり長男勝氏ら親子で活動を再建した。その後、佐賀市第1隊(当時、隊=団)として登録、承認を受けた。全国的にみても、伝統的に続く団である。

今回の記念式典と懇親会に参加した全員が、5月1日に迎えた「令和元年」を機に気持ちを新たに、ボーイスカウト活動を支援し続け、80周年にも再会できることを誓い合った。



創立70周年記念式典で活動内容などを紹介するメンバー＝佐賀市の願正寺

**ボーイスカウト  
創立70周年祝う**  
佐賀第1団が記念式典  
ボーイスカウト佐賀  
第1団の創立70周年記  
念式典が28日、佐賀市の願正寺で  
あった。団員や保護者ら約50人が

出席し、青少年の健全育成の一翼を担ってきた長年の功績をたたえ、節目を祝った。  
同団は1949年に佐賀県で初めて、全国で13番目に設立。野外活動で協力する心を身につけ、募金活動やボランティアへの参加で奉仕の精神を育んできた。  
式典で、石井三夫団委員長が「指導者の献身的な努力で70年を迎えることができた。これからも活動に励む」とあいさつ。佐賀市社会教育課の山口弘一課長らが「幾多の困難を乗り越えて活動を続けてきた。これからも精神を受け継いで素晴らしい人材を多く輩出してほしい」と祝福した。  
功労者3人に感謝状が渡され、式典後の祝賀会ではこれまでの思い出話にふけていた。  
(小部亮介)

佐賀新聞 (2019.4.30)

## ボーイスカウトにおける STEM (ステム) 教育の取り組み



皆さんは、「STEM」という言葉をご存知でしょうか。Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学)の4つの教育分野を総称するもので、英語の頭文字をとって「STEM」としています。2000年代に米国で始まった教育モデルで、4つの領域の教育に力を注ぎ、IT社会とグローバル社会に適応した国際競争力をもった人材を多く生み出そうという、21世紀型の教育システムとされています。このシステムは、単に「科学技術」や「IT技術」に秀でた人材を生み出すことではなく、「自分で学び、自分で理解していくこと」、自発性、創造性、判断力、問題解決力といった能力を高めていくことがねらいで、すでに世界の多くの国で取り組まれています。

日本におけるSTEM教育は、文部科学省が2016年4月に「小学校でのプログラミング授業の必修化を検討する」と発表し、実際の導入時期は2020年度からとなります。これに先駆けて、民間ではさまざまな企業や機関がSTEM教育を念頭においたサービスや活動を開始しています。今年度、日本連盟では「ボーイスカウトにおけるSTEM教育」について

企業から助成を受けて事業の展開を行っていきます。

ボーイスカウトで理数教育？プログラミング？ロボットづくり？と思う方もいるかもしれませんが、STEM分野は、スカウト活動のフィールドである「自然」とかけ離れているものではありません。STEM教育につながるヒントが、自然の中にはたくさんあります。

ボーイスカウトでは、特にカブスカウト部門を対象として、楽しい活動(ゲーム)を通じて、物事について「なぜ」かと考え、「どうして」と探求してみる素養を身につける機会にしています。

具体的には、現在行われている「新チャレンジ章」のひとつとして「STEM章(仮称)」などの設定を検討しています。

また、今回の取り組みには、富士スカウトの先輩で、我が国でSTEM教育を含めた教育活動を展開している藤田大悟氏をコーディネーターに迎え、スカウトがワクワクするような、興味と関心に応える活動の提案を準備しています。



藤田 大悟 氏  
(株式会社リバネス  
ものづくり研究センター長)

ボーイスカウトの活動は、自然を感じ、学び、そこから新たなものを生み出していますが、まさにそれがこれからの時代をつくるSTEM教育の本質だと思っています。スカウトの皆さんが、楽しみながら時代を創る人に成長していくためのお手伝いができればと思います。

今後の展開については、ホームページ等でお知らせする予定です。楽しみにお待ちください。

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆さまです。

ご支援ありがとうございます

2019年 3~4月度

【北海道】 BS 苫小牧 2 BS北海道連盟 理事会一同	南 正晃 中川 和久 鈴木 町枝 根本企画工業(株)	福田 正男 當麻 好教 三谷 克己 長谷川 節子 武藤 八朗 今泉 哲也 平方 敏道 小林 和彦 安藤 潤 BS 荒川 6 BS 西東京 2 BS 目黒 9 BS 大田賛助会 BS 山手地区 BS さくら地区 (株)立川印刷所	永井 淳 内藤 吉文 中村 友一 水野 義久 古谷 仁彦 柴田 吉彦 斉藤 茂美 BS 稲沢 2 BS 西尾1育成会 新東工業(株)	レンタルハウス(株) 【大阪】 高見 篤志郎 福田 雅之 小川 時弘 瀬山 哲隆 【鳥取】 高嶋 壯司 松本 俊寛 池田 昂志 【広島】 登世岡 浩治 【山口】 村上 智真 【徳島】 天羽クリニック 【香川】 吉田 往嗣 【愛媛】 藤岡 一弥 えひめスカウトクラブ BS 愛媛県連盟	BS 北九州 14 BS 北九州 3 BS 北九州 4 BS 北九州 37 BS 北九州 45 【長崎】 江崎 辰男 【宮崎】 武末 雄二 【沖縄】 中井 健 【日本】 廣瀬 彰 野崎 節子 大山 久 第一企画印刷(株) パシフィックグレイズ(株) (株)ノルディックスポーツ (株)プレジャー パナソニック(株) 三洋堂 日本管財(株)
【岩手】 向井田 敏宏	(株)ケンファシリテーズ (株)フリーステアーズ 廣瀬建築研究所	今泉 哲也 平方 敏道 小林 和彦 安藤 潤 BS 荒川 6 BS 西東京 2 BS 目黒 9 BS 大田賛助会 BS 山手地区 BS さくら地区 (株)立川印刷所	【三重】 山岸 廣二 大竹 まり 西澤 幸生 中富 博司 森下 正晴	【徳島】 天羽クリニック 【香川】 吉田 往嗣 【愛媛】 藤岡 一弥 えひめスカウトクラブ BS 愛媛県連盟	BS 北九州 14 BS 北九州 3 BS 北九州 4 BS 北九州 37 BS 北九州 45 【長崎】 江崎 辰男 【宮崎】 武末 雄二 【沖縄】 中井 健 【日本】 廣瀬 彰 野崎 節子 大山 久 第一企画印刷(株) パシフィックグレイズ(株) (株)ノルディックスポーツ (株)プレジャー パナソニック(株) 三洋堂 日本管財(株)
【茨城】 若山 藤男	【神奈川】 小畑 修平 小野 康雄 白倉 栄太郎 坂山 盈 川合 逸平 河口 友喜 菅原 信浩 小池 佑利 小山 貴司 BS 横浜 31	今泉 哲也 平方 敏道 小林 和彦 安藤 潤 BS 荒川 6 BS 西東京 2 BS 目黒 9 BS 大田賛助会 BS 山手地区 BS さくら地区 (株)立川印刷所	【滋賀】 渡邊 大輔 安居 祐治	【香川】 吉田 往嗣 【愛媛】 藤岡 一弥 えひめスカウトクラブ BS 愛媛県連盟	BS 北九州 14 BS 北九州 3 BS 北九州 4 BS 北九州 37 BS 北九州 45 【長崎】 江崎 辰男 【宮崎】 武末 雄二 【沖縄】 中井 健 【日本】 廣瀬 彰 野崎 節子 大山 久 第一企画印刷(株) パシフィックグレイズ(株) (株)ノルディックスポーツ (株)プレジャー パナソニック(株) 三洋堂 日本管財(株)
【栃木】 源田 俊昭	【東京】 杉野 健一郎 佐藤 武信 藤田 修 近藤 信行 加藤 行雄 荻原 和幸 菅原 雅雄 大石 和夫 吳 彰夫 飯原 忠一 吉野 博明 鈴木 俊憲 横山 和久 肥沼 裕史	今泉 哲也 平方 敏道 小林 和彦 安藤 潤 BS 荒川 6 BS 西東京 2 BS 目黒 9 BS 大田賛助会 BS 山手地区 BS さくら地区 (株)立川印刷所	【兵庫】 長島 求 諸戸 純治 富永 和也 菅長 薫 匂梅 博美 石松 隆明 藤田 智之 岸上 敏之 山口 貴裕	【香川】 吉田 往嗣 【愛媛】 藤岡 一弥 えひめスカウトクラブ BS 愛媛県連盟	BS 北九州 14 BS 北九州 3 BS 北九州 4 BS 北九州 37 BS 北九州 45 【長崎】 江崎 辰男 【宮崎】 武末 雄二 【沖縄】 中井 健 【日本】 廣瀬 彰 野崎 節子 大山 久 第一企画印刷(株) パシフィックグレイズ(株) (株)ノルディックスポーツ (株)プレジャー パナソニック(株) 三洋堂 日本管財(株)
【群馬】 今井 健介 吉田 稔 吉井 良弘 金澤 孝吉 清水 圭子 小堀 剛 川山 豪彦 有賀 長規 吉井 宏文 城田 肇 荻原 幸雄 (株)群馬 ハム (株)グンケイ	【東京】 杉野 健一郎 佐藤 武信 藤田 修 近藤 信行 加藤 行雄 荻原 和幸 菅原 雅雄 大石 和夫 吳 彰夫 飯原 忠一 吉野 博明 鈴木 俊憲 横山 和久 肥沼 裕史	今泉 哲也 平方 敏道 小林 和彦 安藤 潤 BS 荒川 6 BS 西東京 2 BS 目黒 9 BS 大田賛助会 BS 山手地区 BS さくら地区 (株)立川印刷所	【奈良】 松浦 幸夫 西村 泰紀 藪岡 克美	【香川】 吉田 往嗣 【愛媛】 藤岡 一弥 えひめスカウトクラブ BS 愛媛県連盟	BS 北九州 14 BS 北九州 3 BS 北九州 4 BS 北九州 37 BS 北九州 45 【長崎】 江崎 辰男 【宮崎】 武末 雄二 【沖縄】 中井 健 【日本】 廣瀬 彰 野崎 節子 大山 久 第一企画印刷(株) パシフィックグレイズ(株) (株)ノルディックスポーツ (株)プレジャー パナソニック(株) 三洋堂 日本管財(株)
【埼玉】 鈴木 泰二郎 斎藤 政之 島村 圭一 BS 宮代 1 BS 埼玉県育成会	【東京】 杉野 健一郎 佐藤 武信 藤田 修 近藤 信行 加藤 行雄 荻原 和幸 菅原 雅雄 大石 和夫 吳 彰夫 飯原 忠一 吉野 博明 鈴木 俊憲 横山 和久 肥沼 裕史	今泉 哲也 平方 敏道 小林 和彦 安藤 潤 BS 荒川 6 BS 西東京 2 BS 目黒 9 BS 大田賛助会 BS 山手地区 BS さくら地区 (株)立川印刷所	【和歌山】 竹内 弘子 中村 光太郎 小畑 淳	【香川】 吉田 往嗣 【愛媛】 藤岡 一弥 えひめスカウトクラブ BS 愛媛県連盟	BS 北九州 14 BS 北九州 3 BS 北九州 4 BS 北九州 37 BS 北九州 45 【長崎】 江崎 辰男 【宮崎】 武末 雄二 【沖縄】 中井 健 【日本】 廣瀬 彰 野崎 節子 大山 久 第一企画印刷(株) パシフィックグレイズ(株) (株)ノルディックスポーツ (株)プレジャー パナソニック(株) 三洋堂 日本管財(株)
【千葉】 中川 義夫 菊地 康介	【東京】 杉野 健一郎 佐藤 武信 藤田 修 近藤 信行 加藤 行雄 荻原 和幸 菅原 雅雄 大石 和夫 吳 彰夫 飯原 忠一 吉野 博明 鈴木 俊憲 横山 和久 肥沼 裕史	今泉 哲也 平方 敏道 小林 和彦 安藤 潤 BS 荒川 6 BS 西東京 2 BS 目黒 9 BS 大田賛助会 BS 山手地区 BS さくら地区 (株)立川印刷所	【奈良】 松浦 幸夫 西村 泰紀 藪岡 克美	【香川】 吉田 往嗣 【愛媛】 藤岡 一弥 えひめスカウトクラブ BS 愛媛県連盟	BS 北九州 14 BS 北九州 3 BS 北九州 4 BS 北九州 37 BS 北九州 45 【長崎】 江崎 辰男 【宮崎】 武末 雄二 【沖縄】 中井 健 【日本】 廣瀬 彰 野崎 節子 大山 久 第一企画印刷(株) パシフィックグレイズ(株) (株)ノルディックスポーツ (株)プレジャー パナソニック(株) 三洋堂 日本管財(株)



マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

3~4月に入会または1年継続された方々です。

【青森】 三浦 雅人 相馬 雅之 【岩手】 末永 正志 【福島】 増子 恵二 【埼玉】 嶋村 和則 【千葉】 増田 秀夫 森屋 啓 若生 義行 田中 作 杉崎 厚	山本 慎太郎 成瀬 晃司 只野 太一 水野 重俊 溝呂木 淳 大刀 隆雄 木村 和幸 西山 考司 中尾 武志 中島 資浩 森 裕次 嶋田 寛 山崎 伊佐緒 津田 繁 藤原 健資 武藤 伸太 中野 まり 城戸 琢磨 中谷 新治	【大阪】 岡下 正司 横山 稔 市橋 與宜 【鳥取】 坪倉 顕示 【山口】 小橋 克哉 高村 義則 【徳島】 石本 康樹 【福岡】 永尾 真介 【宮崎】 荒武 修一 【鹿児島】 諸留 貴久 【日本】 水野 高弘 野崎 清水 美保 出田 行徳 憲宏 大久保 清彦 朝美 智浩
【神奈川】 佐野 友保 【山梨】 藤森 静男 【東京】 村山 正 山内 直元 森谷 治男 武藤 眞仁 福嶋 正己 石井 琢磨 白川 雅之	山本 慎太郎 成瀬 晃司 只野 太一 水野 重俊 溝呂木 淳 大刀 隆雄 木村 和幸 西山 考司 中尾 武志 中島 資浩 森 裕次 嶋田 寛 山崎 伊佐緒 津田 繁 藤原 健資 武藤 伸太 中野 まり 城戸 琢磨 中谷 新治	【大阪】 岡下 正司 横山 稔 市橋 與宜 【鳥取】 坪倉 顕示 【山口】 小橋 克哉 高村 義則 【徳島】 石本 康樹 【福岡】 永尾 真介 【宮崎】 荒武 修一 【鹿児島】 諸留 貴久 【日本】 水野 高弘 野崎 清水 美保 出田 行徳 憲宏 大久保 清彦 朝美 智浩

日本連盟情報 July 2019

6月上旬までの会議・研修など

4月

- 9日(火) ● 社会連携・広報フォーラム小委員会(第1回)
- 11日(木)~14日(日)
  - 第24回世界スカウトジャンボリー派遣団長会議(第2回)
- 13日(土) ● 合同常設委員会(全体会)
  - プログラム委員会(第1回)
  - 指導者養成委員会・ディレクター会議合同会議(第1回)
  - 社会連携・広報委員会(本年度公式第1回、通算第52回)
  - 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会(第1回)
  - 信仰奨励委員会(第1回)
  - コミッショナー任務別研修検討タスクチーム会議(第1回)
- 14日(日) ● 団支援・組織拡充委員会(第1回)
  - 共済運営特別委員会(第1回)
  - 全国防災キャラバン2019キックオフイベント(岡山)
  - 安全促進フォーラム(滋賀)
- 16日(火) ● 100周年記念史編纂委員会(第14回)
- 19日(金) ● 100周年都道府県連盟財政拡充事業小委員会(第2回)
  - 運営系委員長会合(第1回)
- 20日(土) ● 富士特別野営2019実行委員会(第2回)
- 25日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ

- 会(本年度第3回/通算第53回)
- 28日(日)~5月1日(水)
  - ウッドバッジ実修所 CS 第168期
- 28日(日)~5月2日(木)
  - ウッドバッジ実修所 BS 第198期
- 30日(火) ● 財務委員会(第1回)
- 5月
  - 3日(金)~5日(日)
    - 高萩スカウトフィールド活用タスクチーム会議(第2回)
  - 3日(金)~6日(月)
    - ウッドバッジ実修所 CS 第169期
  - 7日(火) ● 運営会議(第2回)
    - 理事会(第1回)
  - 9日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ(本年度第4回/通算第54回)
  - 10日(金) ● スカウト用品特別委員会(第1回)
    - 社会連携・広報フォーラム小委員会(第2回)
  - 11日(土) ● コミッショナー調整会議
  - 12日(日) ● スカウト教育推進会議(第1回)
  - 18日(土) ● スカウトソング特別委員会(第1回)
    - 富士特別野営2019実行委員会(第3回)
    - 次世代につなげるスカウト運動セミナーフォローアップミーティング
  - 24日(金) ● 定時評議員会
  - 25日(土) ● 県連盟代表者会議(第1回)
    - 全国県連盟コミッショナー会議(第1回)
    - 全国ローバースカウト会議(RCJ)総会

- 宗教関係者の会総会
- 25日(土)~26日(日)
  - 2019年度全国大会
  - アジア太平洋地域スカウト委員会
- 26日(日) ● アジア太平洋地域スカウト財団基金造成鹿児島大会
- 31日(金) ● スカウトと社会をつなぐ場所(第13回)
- 6月
  - 1日(土)~2日(日)
    - 共済運営特別委員会(第2回)
  - 2日(日) ● 安全促進フォーラム(東京)
  - 4日(火) ● 運営会議(第3回)
  - 5日(水)~9日(日)
    - 副リーダートレーナーコース第63期
  - 8日(土) ● 第24回世界スカウトジャンボリー隊長会議(第3回)
  - 8日(土)~9日(日)
    - 第24回世界スカウトジャンボリー派遣団本部会議(第3回)
  - 8日(土)~9日(日)
    - 2019年度カンダッシュテーク夏季野営スタッフ派遣
  - 9日(日) ● 第24回世界スカウトジャンボリー IST 準備訓練(第3回)
    - RCJフォーラム2019運営会議(第1回)
    - 第13回日本アグーナリー一般参加サービスマスター専門部会(第1回)

## 神様仏様を身近に

信仰奨励委員会 森定 信吉

神様や仏様、あるいは大いなる天地自然に対して「畏敬の念」をもつことは、幸福の道への基本であり、人にそのような実感が育つためには、挨拶しつげと同様に、幼いときからの神仏に向かう習慣や経験の繰り返しが大切だと思います。

ハイキングの企画などで地形図を見るときなどに、神社や寺院が案外多く、驚くことがあります。地域の AED マップの作成と同じように、地域の「神様仏様マップ」の作成をプログラムにしてみてもどうでしょう？

神社、仏閣、教会、諸教の礼拝施設ほころはもちろん、地域の氏神様や、道端の祠、お地藏様なども対象にしましょう。また、それらのいわれや伝承等を調べたりするのもよいと思います。

マップを作成していくと、私たちはいかに多くの神仏に囲まれ生活しているかがわかります。そして、意識せずとも、絶えず私たちの幸せを願ってくださる神仏のような存在があり、私たちが日々その祈りの中で生かされていることを改めて思うと、自然に「ありがたいなあ」という気持ち湧き起こってきます。

スカウト運動がすべての人間に開かれているならば、私たちはすべての宗教を尊重しなければならないはずで、他人が信仰する神仏、あるいは未知の宗教に対しても、自分の信ずる宗教と同様に敬意を払い、礼儀を忘れてはならないと思います。

普段、街で道すがら神社仏閣の前で立ち止まって手を合わせたり、脱帽して一礼して行く人を見ることがあると思います。

明確な信仰をもつスカウターならば、すべての宗教に対してこのような習慣や礼儀を身につけるべきだと思いますが、恥ずかしながら私自身、ちょっと頭を下げるだけで横切ったり、心の中だけで会釈したりと、つつい省略してしまうことがあります。

しかし、礼儀正しい大人の真似をしてくれるスカウトが一人でも多く育つためには、なるべく省略はしない方がいいですね。なお一層、努力していこうと思います。

## 星降る夜空に タープで寝ることの喜び

タープの下で眺める焚き火の炎や外の景色、刻一刻と虹色に変化する夕焼けの空、そして夜空に輝く満天の星はもちろんのこと、寝そべりながら、雨にけむる森の水墨画のような薄墨の重なり。それらを飽きることなく眺めつつ、いつしか眠りにつくことの幸せ……。タープをたたき雨音さえも心地よいリズムとなって深い眠りへと誘う。

外界をシャットアウトするテントも良いが、タープ下での焚き火の温もりと外の景色に出会えたなら、もうタープキャンプはヤメられない。雨が降ろうか風が吹こうか、この小さな焚き火さえあれば、いつでも温かい飲み物やチョットした食べ物を得て身体を温めたり、足元や腰回りにお湯を注いだペットボトルを添えることで温かいシュラフの中で眠ったりできる。

本当は、タープさえもなくして焚き火の横で大地に寝そべり、夜空の星たちを眺めていたのだが、自然はそう甘くはない。満天の星でも10分後にはドシャ降りの雨に。森の中、湖の岸辺や海辺の砂浜近くでは、気がつけば夜露がジツリといつのまにか忍び落ちてくるのだ。外に置き去りにされたバッグやコート、そしてマッチやライターなどのキャンプ道具が夜露でビショビショ状態、朝起きてビックリというのは誰も一度は経験していることだろう。

タープを張るコツはまず梁綱をとること。その綱に被せるようにタープをかけ、四つ角を固定する。梁をとらないと雨や雪などが溜まり、重さに耐えきれず、突然のタープ崩壊に、タープキャンプサイトの中はグッチャグチャの憂き目に遭うのだ。支柱と梁綱は大切なり、決して忘れるべからず。

### タープに欠かせない焚き火の温もり

最初にタープを全体に広げて張る。風下側の角に焚き火カマドを組み、薪を拾い集めてタープ下に置く。タープを半分折り返して視界を広げ、雨や夜露に濡らせたくないシュラフ、着替えや荷物などは折り畳んだタープ下に。雨が降り出したら全体に広げ戻し、焚き火を小さくしてタープの支柱幅を開いてタープ全体を低くする。雨水は足元側を低くして集水する創意工夫が楽しい。



雨は天からの恵みと考えよう。南の無人島キャンプではこの空の神様からの恵みを大切にしよう。タープ全体を斜めに張り、雨水が一か所に集まるようにして布バケツやコッヘル、ペットボトル、そして防水バッグさえも中の道具を寝袋の上にバラまき、中を空にして雨水を溜める。無人島では食料が尽きても飲み水さえあれば……つまり、水は命の源ということを知るのだ。

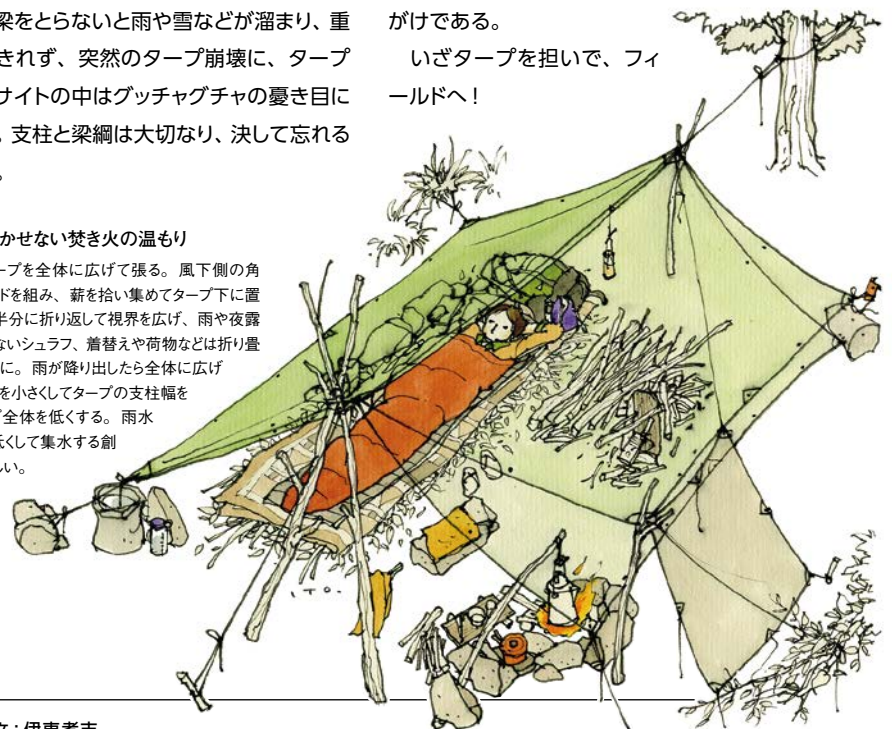
テントとタープの大きな違いは、雨や雪が降ろうか、風が吹こうか、タープの下では小さくとも「焚き火」が可能だということ。

それは、雨が降り風が吹くなどいかなる状況においても、焚き火ひとつあればいつでも温かい飲み物や食べ物が得られ、体を温めることができるという、安心感があるということだ。

外遊びだからこそ、風に吹かれて雨に打たれ、そして大地に眠ること。

キャンプ・野営とは、大自然というフィールドに出て、圧倒的な自然（原野もしくは海や山々）と向き合う覚悟を前提にそこで出会うさまざまな自然現象と対峙し、衣食住にまつわるシンプルな必要最小限の道具で時を過ごし、日々の暮らしの中で生きるために何が本当に必要なのかを知る真剣かつ壮大な「遊び」によるひとつの修行なのだと思う。要は「そなえよ つねに」という心がけである。

いざタープを担いで、フィールドへ！



イラスト&文：伊東孝志

いとうたか／南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する、奄美大島生まれの小学57年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先以北斎を見つめ、水彩の楽描（らくがき）を糧として、奄美・沖縄・東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。

●伊東孝志ブログ「道草楽描／みちくらぐがき」～ <http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

スカウティングと観察・推理 ②

スカウトキャンプならではのチャンス。

# 夏のプログラムには夜の自然観察を。



TREETOPS

B-Pが野生動物を観察して

楽しい夜を過ごした、ケニアのツリーハウス。  
「ジャングルを1.6kmほど進んだところで、ガイドが頭上にそびえる大木を指した。そこには、驚くべき建物があった。木のまたに広い台がしっかりとわたしてあり、その上に、バンガローが建っている。バンガローには部屋が二つあり、まわりをバルコニーがとりかこんでいた。〔中略〕そこから見たせる森の中の空き地に、小さなどろ水の水場があった」

ボーイスカウト運動の創始者ベーデン・パウエルは、晩年を過ごしたケニアでの体験を著書『アフリカの鳥と動物たち』でおもしろおかしく書き残しています。その一節から……

「日が沈むとすぐ、明るい月あかりを浴びて、スター役者が登場した。サイ閣下のお出ましだ。わたしたちは大喜びした。サイは、姿が見えないうちから、荒い鼻息で登場を予告していた。そして、ほどなく、市会議員のようなもったいぶったようすで、体を左右にふりながらやってきた。サイは、水場のどろ水をピチャピチャと音をたてて飲んだ」

このあとも、美しいオリックスや悪役のハイエナ、巨大なゾウの姿を観察します。イラストもたくさん描きました。

B-Pは夜のジャングルならではのページェントに大きな感動を覚えたようです。日の光とともに暮らす私たちにとってもそれは同じ。夜の自然観察は新しい感覚と感動を目覚めさせます。

何泊かする夏のキャンプや舎営を、夜、自然と触れ合い、観察し、さまざまなことを考え、推理する絶好の機会にしませんか。

## 夏キャンプ、夜の自然観察

● まずは、何を観察するか

夜空と天体

好天に恵まれれば、動きの少ない天体の観察からまず始めましょう。

- 天の川、星座／「夏の大三角形」に注目しましょう。いずれも1等星の、こと座のベガ（織り姫星）、わし座のアルタイル（彦星）とはくちょう座のデネブが形づくります。雄大な天の川はどこを流れているでしょうか。

様子を見ましょう。月は方位判定の参考にもできます。

生物

- 虫／夜のホタルの観察が定番ですが、盛夏には難しいかも。秋が主流ですがマツムシ、クツワムシなど、鳴く虫の観察。灯に集まる昆虫はたやすく観察できます。
- 夜行性動物／カエルの観察ができます。タヌキ、ムササビ、コウモリ、フクロウなどが夜行動しますが、巣の場所を知っているなど、しっかりしたガイドが必要です。

- ▶ 広い範囲を見渡す、地形の観察は昼のうちがよいでしょう。
- ▶ 必要に応じ、図鑑、星座盤などを用意しましょう。
- ▶ スカウティングの一環なので、能力に応じて必ず観察記録を書かせるようにしましょう。もちろん、指導者自身も活動経過を書いておきましょう。
- ▶ 海が近いキャンプ地ならば、夜の磯も観察できますが、安全に十分注意しましょう。

● ここは、エキスパートに問い合わせよう

自然観察は知識と経験に加え、子どもたちの関心と感動をうまく引き出すガイドが必要です。一般の隊指導者ではなかなか難しそうです。そのようなガイドとイベントを捜してみましょう。

さまざまな団体が活動していますが、スカウト運動に理解があるという点から、右記のネットワ

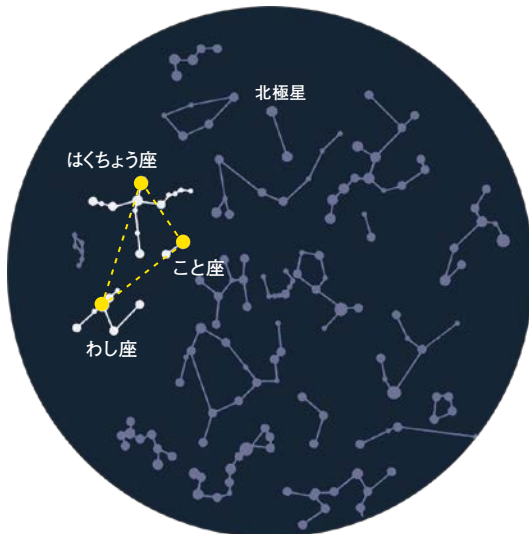


「空き地の反対側から、怒り狂ったサイが飛び出てきた。角にからまった枝をふりまわしている」

「入れかわりに、美しいウオーターバックがしずしずと登場した。それとほとんど同時に、空き地の反対側から、もっと美しいウオーターバックがやってきた。立ち姿が、すばらしく絵になる」

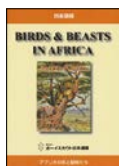


「まっすぐで長くどがった角をもつ、美しいオリックス」



8月上旬、20時ごろの星座

- 指北星／必ず北を指している北極星を見つけましょう。サバイバルスキルのひとつです（日本連盟刊『スカウトスキル・セレクション』p.50参照）。
- 月／満ち欠けや、双眼鏡も使いクレーターの



『アフリカの鳥と動物たち』  
翻訳 飯岡美紀／監修 世界スカウト運動100周年記念行事推進委員会／2007年／日本連盟発行／800円（税込）

## フィールドガイドの基本が満載

日本自然保護協会  
『自然観察ハンドブック』から学ぶ、

## 自然観察9つのポイント



平凡社 / 2,000円(税別)

日本自然保護協会の「フィールドガイドシリーズ」第1冊目として1984年に発行され、1994年に内容はそのまま新装版となって再刊された、基本的ガイドブックです。

写真のフィルムケースがなくなり、ペットボトルの種類が増えた、携帯図鑑の代わりとなるスマホアプリが登場したなど、自然観察や研究の道具、情報機器の進歩により、方法はかなり変わりました。しかし、自然観察に対する心構えは基本的には変わらず、今でも十分に役立つ内容が収録されています。

とりわけ、冒頭の「自然観察とは」の章の「どうゆう見かたをするか——」と題した節は、夜間の観察を含め、学ぶべき基本的なポイントです。以下に引用し、要点(文責・本誌編集部。順番は原文のまま)をご紹介します。



公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J)

<https://www.nacsj.or.jp> 〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F  
TEL: 03-3553-4101(代表) FAX: 03-3553-0139

## ● 自然の見かた—

## 普通の感覚で

まずは道具を使わずに、自分の視覚・聴覚・嗅覚を生かす。

## 全景を見る

自然の事物は、全体の中であるべき姿で存在している。

## スケッチする

うまくなくても、描くことで見えてくるものがある。

## 話し合う

観察して気づいたことを仲間と話し合い、理解を深める。

## 疑問形で見る

なぜそうなっているのか、なぜそこにいるのかと問う。

## 普通の生物を

大事なものは、珍しくない、ありふれた普通の生物。

## 採集しない

とらないから見えてくるものは何かという観点に立つ。

## 時間の軸で

同じフィールドを、日を変え、月を変え、季節を変えて見る。

## 人と自然

「自然のしくみ」をよく知り、「人と自然のありかた」を考える。

ーク団体を推薦します。どんどん問い合わせしてみましょ。

公益社団法人  
日本環境教育フォーラム (JEEF: ジーフ)

<http://www.jeef.or.jp/>  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5日能研ビル1階  
TEL: 03-5834-2897 FAX: 03-5834-2898

## ● 安全に観察しましょう

自然観察はさておき、スカウトの指導者は、活動において安全のエキスパートでなければなりません。小さなものでも事故が起きれば、観察を中止したり、その後のキャンプ全体のプログラ

ムを変更したりする必要があります。夜間の自然観察では、

- ▶ 必ず、観察コースを昼間のうちに下見をしておく。
- ▶ 天候や気温の変化、熱中症予防、虫刺されなどに留意する。
- ▶ スカウトに、静かに観察する、ライトを他人の顔に当てない、転ばない、落とし物をしない、などを徹底する。
- ▶ 翌日以降のキャンプ生活のために、スカウトのチームワーク、態度、体調などをよくみておく。などを心がけましょ。

適切なガイドによる感動を伴うしっかりとした観察は、新しい推理の素になります。

なかでも、日が沈んだ後のプログラムでは、感覚が鋭くなり、雪原での観察や雨の日の観察などと並び、自然観察の魅力的なバリエーションになります。

ぜひ、この夏のキャンプの夜は、キャンプファイア、ゲームや恒例の「肝だめし」に加え、自然観察をスカウトたちに体験させてください。

## 今月のおすすめ本



企画・構成 松島徳子  
『るるぶ Do!  
はじめての  
野外活動  
生きる知恵を身に  
つける』

2012年 / JTBパブリッシング / 1,300円(税別)

カバーを見てもわかるように、安全なキャンプサイトの選定、ナイフの使い方、ロープワーク、火の起こし方、野外料理から簡易測量まで、スカティングのプログラムにかなり合致するハウツー本。編集意図が明確、オールカラーの写真と図解もていねいで、かなり頼れる本となっている。スカウトスキルの復習にもお勧めだ。



ボーイスカウト日本連盟  
編・発行  
『スカウトゲーム』

2014年 / 600円(税込)

日本連盟プログラム委員会が中心となり作成。なんと141ものゲームが紹介されている。「夜間のゲーム」では、「観察と推理」の力を養うというより、暗い中でスリルを楽しむ面が多いようだ。もちろん「観察と推理」を楽しむゲームも多数紹介されているので、おおいに活用したいガイドブックだ。スカウトショップで発売中。

夜の自然観察により、スカウトたちは観察や推理に親しむだけでなく、ヒトが恐れてきた「闇」を体験し、自然への理解を深め、それを尊重し、さらにはそのような自然の創造主に感謝する心を芽生えさせることでしょ。

「きみも、ケニアに来ることがあれば、ぜひツリートップスを訪ねてほしい」ともB-Pは書いています。B-Pはきつと、スカウトの関心が、観察と推理から信仰に発展することも願っていたのでしょ。

次号は、野外活動のもう一本の柱、スカウトハイクでの「観察と推理」について取り上げます。



# 海での活動について

～海上保安庁から3つのお願い～

今年も夏休みを前に、スカウトの皆さんにとって海での活動が楽しい季節がやってきました。

そこで、海上保安庁からスカウト、指導者、保護者の皆さまに、海での事故を防止するための「3つのお願い」をさせていただきます。

1つめは、「**ライフジャケットの常時着用**」です。

海での事故を防止するためには、何より、普段からの「そなえ」が必要です。

平成30年のプレジャーボートからの海中転落のうち、ライフジャケット着用者の死亡率は2パーセントであり、非着用者の死亡率は16パーセントと、約8倍となっています。

このように、ライフジャケットの着用の有無が、生死を分ける大きな要因のひとつとなります。

また、万が一海に転落した場合は、体力を使わず、浮いて助けを待つことが重要です。

もしも、ライフジャケットを着用せずに落水した場合などは、身近にある浮く物を投げ入れ、落水者が浮力の確保をできるようにしてください。

2つめは、「**連絡手段の確保**」です。

万が一、海に落ちてしまった場合でも身体にあった適切なライフジャケットを正しく着用していれば、浮いて助けを待つことができます。

しかし、せっかく浮いて助けを待っているにもかかわらず、事故が起きたことを知らせる手段がなければ、助けを呼ぶことができません。

そのためには、防水パックに入った携帯電話やスマートフォンを携帯する、一人では行動せず、必ず複数人で行動する等、確実な連絡手段を確保していただくことが重要です。

# 118!

3つめは、「**海難の際の緊急通報電話である「118番の有効活用**」です。

ライフジャケットを正しく着用し、確実な連絡手段を確保したら、速やかに救助要請をすることが大切です。

海上保安庁では、東京の本庁および全国11の管区にある運用司令センターにて、24時間365日、全国共通の緊急通報である局番なしの「118番」の受付を行っており、いざ海難が発生した場合は、巡視船や航空機で救助に向かう体制を整えています。

万が一、海難事故が発生した場合は、すぐに「118番」に連絡し、救助要請を行ってください。

以上、「自己救命策確保の3つの基本」を覚えていただき、今年も楽しい活動を行っていただければと思います。

東京海上保安部

警備救難課 専門官 村瀬 剛徹

(千葉県連盟千葉地区副コミッショナー・千葉第18団ベンチャー隊長)

2019  
No.733

9

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2019年9月中旬発行

特集

## 2019年夏の大会大特集

9月号の特集は、今夏アメリカで行われる「第24回世界スカウトジャンボリー」と、新たな地で開催する「富士特別野営2019」。今年の夏の大会速報をお届けします。

なお、大会終了後の編集および制作になりますので、発行は9月中旬の見込みです。

なんでも応募先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
電話 03-6913-6262 (代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

**投稿規定**／本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのお投稿をお待ちしております。

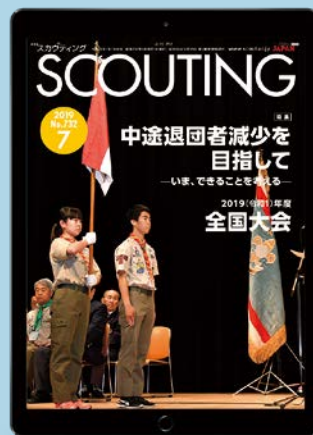
日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

『スカウティング』2019年7月号 No.732 令和元年7月1日発行（奇数月1日発行）  
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>  
『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者（隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員）に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は同様の登録住所変更の手続きをお願いいたします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合：5月号から当該月号を同封にて送付（例：8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封）②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合：11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合は有償でお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に合わせたため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ<https://www.scout.or.jp>から、スカウティング誌のページをご覧ください。  
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2019 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部（代表 TEL:03-6913-6262）までご連絡ください。

# SCOUTING

デジタル配信しています！



機関誌「スカウティング」のデジタル版(PDF)を、読者の皆さまを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるように入力、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>



あなたの1票が新商品に！

# 「カブTシャツ」

## リニューアルプロジェクト



スカウトショップのWEBサイトやSNSより、お気に入りのデザインに投票してください。一番投票の多かったものが「新カブTシャツ」のデザインになります。

**抽選で5名様にスカウトショップ関連グッズをプレゼント！**



### 7月中旬情報公開。詳しくはWEBで。

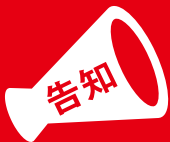
デザインは、サンプルです。実際の投票時にはデザイン数の変更やデザイン変更などがあります。

そなえよつねに。足りないものは“SCOUT SHOP”で。



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



# OUTLET SALE

スカウトショップでは、手に入らなかった品や、あったら便利な品まで、過去最大級のアウトレットセールを行います。これを機会にさまざまなスカウトグッズをぜひ手に入れてください。数量限定ですので、ぜひWEBをご確認ください。

### 8月後半情報公開。 詳しくはWEBで。

事前の内容確認等は行っておりません。あらかじめご了承ください。





**ゴゴカレー** 公式通販  
<https://jp.gogocurry.com>



# 暑い夏こそ 熱くなれ!!

あのアツイジャンボリーを忘れたとは言わせない!! 今年の夏もみんなで元気にゴゴサマー!!

私たちは、自然のなかで元気に活動する  
ボイスカウトを応援しています。



元気の源  
**ゴゴカレー**

株式会社 ゴゴカレーグループ 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル3階 [www.gogocurry.com](http://www.gogocurry.com)

SCOUTING 2019/7 **732**

**スカウトイング**  
 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
 令和元年7月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボイスカウト日本連盟  
 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
 電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 200 (税込)  
 郵便振替 00130-1-56119  
 口座名義 公益財団法人ボイスカウト日本連盟

